

賃貸マンション事業へ新規参入

新ブランド「TENAS(テナス)」

～名古屋市中区で第一弾「テナス丸の内」の開発に着手～

トヨタホーム株式会社（名古屋市中区東区泉一丁目23番22号、取締役社長 後藤裕司）は、賃貸マンション事業に参入します。新ブランド「TENAS（テナス）」を導入し、本事業の第一弾として、名古屋市中区丸の内二丁目で「テナス丸の内」の開発に着手しました。

トヨタホームの集合住宅関連事業では分譲マンション事業ほか、戸建住宅の工法を採用した賃貸アパート商品や企業向け社員寮を展開しています。今回参入する賃貸マンション事業は、当社が土地から購入し建物を建設・保有。当社保有の賃貸住宅としてお客様に住戸を提供します。

第一弾となるテナス丸の内は再開発が進む丸の内エリアに位置し、地下鉄桜通線・鶴舞線「丸の内」駅より徒歩5分で、栄・伏見・名駅エリアへのアクセスが便利な好立地。30歳前後の単身者をターゲットとした全48邸で、2022年9月に完成します。

建物は西面バルコニー側ファサードに特徴を持たせた外観とし、エントランスはコンパクトながら奥行きを感じさせる設えとします。各戸の内装仕上げや住設機器は分譲マンションさながらのクオリティを採用することで、賃貸でありながら上質で充実した暮らしを実現します。

トヨタホームは今後、都心部を中心に賃貸マンション事業を推進し、より良い住環境で豊かな暮らしを実現できる住まいを提供してまいります。



<外観イメージ>



<エントランスイメージ>

T E N A S

MARUNOUCHI

テナス丸の内

トヨタホームの「T」と、ギリシャ語で「ENA（一番）」を合わせた造語。エリアNo.1の豊かな暮らしを実現する、トヨタホームならではの賃貸レジデンスを提供する、との想いを込めました

□テナス丸の内の特徴

<エントランス>

グレートーンの材質で統一。濃色タイルでアクセントを加えて、海外ホテルの雰囲気と都会的なクールさを合わせ持ったデザインで、周囲の緑やオフィスと調和します。

<安全・安心>

共用部にはニューノーマルな暮らしを実現する非接触エレベーターや手洗い設備、居住者専用の非常用防災庫を設置しました。エントランス・エレベーター・専有住戸部分のトリプルセキュリティを完備し、トヨタホームならではの安全・安心な暮らしを実現しています

□「テナス丸の内」の概要

| | |
|---------|---|
| 名 称 | テナス丸の内 |
| 所 在 地 | 名古屋市中区丸の内二丁目 301 番 |
| 交 通 | 名古屋市営地下鉄 鶴舞線・桜通線「丸の内」駅（1番出口）より徒歩5分 |
| 総 戸 数 | 48 戸 |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート造、地上13階建 |
| 間 取 り | 1K・1DK・1LDK |
| 住戸総専有面積 | 29.87㎡～38.29㎡ |
| 共 用 施 設 | 非接触エレベーター、トリプルセキュリティ、手洗い設備、 屋内ゴミステーション、屋内駐輪場、非常用防災倉庫 |
| 建物竣工時期 | 2022年9月下旬予定、入居開始2022年10月上旬予定 |
| 事 業 主 | トヨタホーム株式会社 |
| 設 計 | 株式会社 三輪設計 名古屋本社 |
| 施 工 | 徳倉建設 株式会社 |

以上

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



トヨタホームの省エネ・創エネの家づくりやバリアフリーの暮らし方、災害に強い家の提案、さらには環境に配慮した生産・施工現場などは、いずれもSDGsのターゲットに合致するものです。トヨタホームは今後とも、住まいに関わる様々な事業を通じ、お客様と社会に貢献する企業として成長してまいります